

京都府立京都スタジアムのネーミングライツパートナーに係る 優先交渉権者の決定について

令和元年6月
文化スポーツ部

この度、「京都府立京都スタジアム」において、ネーミングライツパートナーシップ制度を導入することとし、4月1日（月）から5月15日（水）までの間、募集を行いました。

去る6月3日（月）に開催された外部有識者で構成される意見聴取会での意見も踏まえ、応募者の提案内容を審査した結果、下記のとおり優先交渉権者が決まりましたので、お知らせします。

今後、優先交渉権者との交渉を行った上で、正式な愛称・契約期間等を決定し、契約を締結する予定です。

1 内容

募集施設 (所在地)	京都府立京都スタジアム (亀岡市追分町)
優先交渉権者	京セラ株式会社
主な提案内容	
愛称案	サンガスタジアム by Kyocera
応募金額	1年当たり1億円
契約期間案	20年間

2 応募者

京セラ株式会社（京都市）のみ

3 意見聴取会委員

中野 淑夫（公認会計士）
波多野 進（京都先端科学大学名誉教授）
松永 敬子（龍谷大学経営学部教授）
水谷 智子（(株)アイエヌジーリンク 代表取締役）
渡部 隆夫（元 国民文化祭実行委員会副会長・企画運営委員長）